

パブリック・コメント制度による

「富士市立小中学校適正規模・適正配置 基本方針（案）」

に対する意見募集の結果について

1 意見募集の概要

- (1) 意見募集方法 ①富士市ウェブサイトへの掲載
 ②教育総務課、各まちづくりセンター、中央図書館での閲覧
- (2) 募集期間 令和 2年 2月 28日（金）～令和 2年 3月31日（火）
- (3) 意見提出方法 ウェブサイトの送信フォーム・電子メール・郵便・FAX
 担当課への直接提出

2 意見募集結果

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 意見提出者の数 | 14人 |
| (2) 提出された意見の数 | 14件 |
| (3) ウェブページアクセス件数 | 1674件 |
| (4) 意見の反映状況 | |
| ➤ 反映する（一部反映を含む） | 0件 |
| ➤ 既に盛り込み済み | 0件 |
| ➤ 今後の参考にするもの | 10件 |
| ➤ 反映できないもの | 0件 |
| ➤ その他 | 4件 |

令和2年5月

富士市 教育委員会 教育総務課

パブリック・コメント制度による「富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針（案）」に対する意見募集について（期間 令和2年2月28日～3月31日）

意見等に対する市の考え方

No.	意見等の内容	意見等に対する市の考え方	反映結果（修正した場合の内容及び理由）
1	<p>小中一貫にする事で建物を新設するならば、児童館的機能も備えるべきではないでしょうか。新設できなくても校舎を部分的に解放するとか、校舎で難しいならまちづくりセンターや、地区の区民館などの解放など、代替案は無いのでしょうか。地区内で、放課後や、長期休暇の昼間、子供達が安全に生活出来る場所が増えることを望みます。学童に通えない子で、親が家におらず子供だけで居ることも聞きます。親も好んで子供だけにしていくわけではありません。また、長期休暇中は、日中子供だけで過ごしていることを不安に思うこともあると思います。</p> <p>しかし、児童館は近くに無く、あっても交通量の多い道路を越えて子供達だけで自転車や歩きで行かねばなりません。これは安心安全なことでしょうか。学校から帰ると、学校にはもう入れず、校庭で遊ぶことも出来ないと聞きます。子供達は何処に行けば良いのでしょうか。普段の学校生活も大切ですが、放課後の事も考えてもらいたいです。出来無いなら、しっかり代替案を出してもらいたいです。</p> <p>プールも無くなっていくと聞きます。新設するなら、児童、生徒だけで無く、地域住民も利用できる施設にして、複数課で費用を分担しつつ維持管理運営はできないでしょうか。室内形にして、夏の猛暑でも安全に利用できるよう整備する事はできないですか。学校だけで無く、地区のプールとして使うなど、作ることはできないのでしょうか。望月とおる議員の意見は、市民に沿ったものだと思います。実現して貰えたらと思います。</p>	<p>本基本方針においては、児童館や子どもの居場所づくりについて、言及しているものではありませんので、今後の参考にさせていただきます</p> <p>本基本方針においては、プールについて言及しているものではありませんが、学校のプールに関しては、公共施設マネジメントの観点から、施設の改築に合わせて、施設の複合化を検討することは重要であると考えておりますので、学校プールの新設・改築の際には、市民と学校の共用に向けた施設整備についても併せて検討することになります。しかしながら、学校の校舎や体育館と同様に、プール施設もこれまで以上の長期活用に向けた長寿命化を図ってまいります。</p>	その他

2	<p>子供（特に小学生低学年）の通学区を決定するに際して、単純に住所・学校までの距離だけではなく、通学経路に危険がないか、ということも十分に考慮して決定いただきたい（通学できる学校について生徒側に選択肢を与えるなど例外措置を柔軟に考えていただきたい）。たとえば、毎日通学するために、国道一号線など大通りを複数渡らせないと通学できないような場所にある学校には、親としては通わせたくない、と考えています。</p>	<p>本市では、富士市立小中学校の通学区を定める事務取扱要領（昭和 41 年 11 月 1 日制定）に基づき、町内会ごとに通学区を定めており、現時点で区域変更の予定はございません。</p> <p>通学路につきましては、児童生徒が安全に通学できるよう、それぞれの学校において、日々変化していく道路状況を踏まえ、柔軟に対応してまいります。</p>	今後の参考にするもの
3	基本方針に賛成です	今後の参考にさせていただきます。	今後の参考にするもの
4	<p>青葉台小学校では、来年度の夏休みの自由プールを廃止することのこと。親達は、他の小学校に比べ実施回数が少なく、毎年高温により中止となる現状から、午前中の自由プール実施を求めていたところ、来年度は中止とした連絡が紙面にてありました。</p> <p>青葉台地区には 県営のプール施設があるというのが学校側の理由です。</p> <p>クラス以外のまた学年の違う子どもたちとプールで遊ぶことは、授業のプールと異なりとても有意義な時間になると考えます。先生方もご自身が子どもの頃を思い出していただきたい。自由プールは小学校の夏休みの思い出でも上位になるのではないのでしょうか。</p> <p>市の基本方針に「集団の中で切磋琢磨することを通じて、一人一人の思考力や問題解決能力を育み、社会性や規範意識等を身につける」とありますが、夏休み中に上記の資質を身につけるのに自由プールは大変有効だと思います。</p> <p>校区内に公営のプールがあるから各自で行って下さい、というのは違うと思います。</p> <p>一定規模の児童の集団が確保され、同世代の他者から学び合う機会となる夏休みの自由プールを子ども達から奪わないで欲しい、と切に願います。</p>	<p>本基本方針においては、自由プールについて、言及しているものではありませんが、青葉台小学校の自由プールについては、ご指摘いただいたような有意義な効果もある一方で、昨今の異常気象により、実施回数の減少や子どもたちの登下校の際の熱中症も心配されます。また、代替施設が比較的近くにあるという学校の立地状況も踏まえ、多角的な視点から検討し、廃止を決定いたしました。夏休みの自由プールの意義につきましては、十分理解をしているところではありますが、自由プール以外でも、一定規模の集団が確保されていれば、同世代の他者から学ぶ機会は、日頃の学校生活の中でも得ることができると考えています。</p> <p>新たな時代を生きる子どもたちにとって、「集団の中で切磋琢磨することを通じて、一人一人の思考力や問題解決能力を育み、社会性や規範意識等を身につける」ことは、大変重要であると考えております。</p> <p>そのため、子どもたちが学習中だけでなく、遊びやスポーツといった様々な場面で学び合い刺激を受けることは、大変有意義なことであります。</p> <p>本基本方針にあるように、一定規模の集団規模が確保できるよう、小中学校の適正規模・適正配置について検討</p>	その他

		を進め、日頃の学校生活の中で、学び合い、刺激し合う場面を大切にし、子どもたちの社会性や人間性を育ててまいりたいと考えております。	
5	<p>子供受給者証の見直し</p> <p>ひと月5回目から無料ですが持病など通院がない方はまずほとんどの家庭がしないとおもいます。せめて一世帯1枚にして頂きたい。</p> <p>児童の遊び場</p> <p>児童館がありますがほとんど未就園児専用で児童の遊び場がないと思います。公園でもいいのですが夏場や冬場の遊び場がありません。</p> <p>浜松こども館、科学館や藤枝のれんげじスマイルホールのような施設を作ってもらいたいです。</p>	<p>本基本方針においては、子供受給者証や児童の遊び場について、言及しているものではありませんので、今後の参考にさせていただきます。</p>	その他
6	<p>東小から須津小は遠くないので合併した方が良い。</p> <p>人数の少ない小学校に入りたいと思う人は少なく、むしろ避けていくと思うので人数はどんどん減る一方なので早急に適正規模にするため進めていただきたい。</p> <p>人数が少ないために、できないことなどがどんどん多くなってきている。</p>	<p>学校規模に関しては、小規模校、大規模校、それぞれにメリットやデメリットがありますが、これからの未知の社会を生きる子どもたちには、「集団の中で切磋琢磨することを通じて、一人一人の思考力や問題解決能力を育み、社会性や規範意識等を身につける」ことが、大変重要であると考えております。</p> <p>そのため、そのような力を育むためには、ある程度の集団規模の中で生活することが、子どもたちにとって必要であると考えております。</p> <p>小規模校については、子どもたちにとってのより良い教育環境づくりを目指して、検討を進めてまいります。</p>	今後の参考にす るもの
7	<p>中学校に関しては、合併して良いと思いますが、あまり大規模より、やはり小規模の方が望ましい気がします。</p> <p>小学校は、全1クラスの6学年6クラスくらいの規模が良いのではないかと思います。1クラス30人以下など。</p> <p>クラス替えもなくして、先生もなるべく持ち上がりなど、変化の少ない中で丁寧に学習することが出来たらいいと思います。</p>	<p>学校規模に関しては、小規模校、大規模校、それぞれにメリットやデメリットがあります。特に、小規模校に関しては、「一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、きめ細かな指導を行いやすい」「意見、感想を発表できる機会が多い」等、少人数なりのメリットがあると考えられます。</p>	今後の参考にす るもの

	<p>登場人物が多すぎると、集団という感じが子供にとってはしないのではないかと思います。</p> <p>また、お子さんのいる先生の配置に、学校を行事のタイミングに合わせて、ABCなどで分け、お子さんがA校なら、移動はBC校等、行事に参加できるようにしたらどうかと思います。</p>	<p>一方で、本基本方針では、一定規模の同世代の集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、子どもたちの思考力、判断力、表現力や問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を育むことが重要であると考えております。</p> <p>また、「児童生徒の人間関係が固定化しやすい」「多様なものの見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい」と言ったデメリットからも、クラス替えが出来るような各学年2クラス以上が適正と考えております。</p> <p>また、本基本方針においては、教職員の配置について、言及しているものではありませんが、教職員が自身の子どもの行事に参加できるように配置について配慮してまいります。</p>	
8	<p>多様化が進み、先生方の負担が年々増えています。先生が授業のみに専念できるよう、外部の人や組織をもっと活用した方が良いのではと思います。</p> <p>いじめや貧困、国籍、家庭問題など「心の問題」も深刻です。臨床心理士の方を常勤にする必要があるかと思えます。</p> <p>また名古屋市を見習い、キャリアコンサルタントの常駐も必要だと思います。現在のキャリア教育は職業講話や職業体験などの「職業理解」がメインです。しかし大事なのは「自己理解」です。これを子供たちと一緒に考えていけるのはキャリアコンサルタントです。何でもかんでも「職業」に結びつけ、将来なりたい職業を発表させたりするのはまちがっています。</p> <p>学校のことを全て先生に任せるのではなく、たくさんの方の専門家を入れるべきです。先生もその専門家のひとりだと考えるべきです。心の問題は心の専門家、キャリア教育はキャリアの専門家等。先生の負担を減らすのはもちろん、質の高い学校・教育にしてほしいです。</p>	<p>本基本方針においては、教員の多忙化について、言及しているものではありませんが、学校現場に様々な専門職を取り入れ、教職員の負担軽減や質の高い教育を推進することに関しては、現在、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を学校に配置し、改善を図っているところです。</p> <p>しかしながら、ご指摘いただいたキャリア教育の分野など、まだまだ行き届かない点や改善の余地のある教育活動もあることは確かです。</p> <p>今後も、外部組織の活用や専門家の導入等も視野に入れた、教育活動全般の見直しや授業改善に努めてまいります。</p>	その他

<p>9</p>	<p>自身は学童数の少ない小学校の学区に住んでいます。自分の子どもの同世代の人数が少なく、隣の地区か会社の近くに引っ越しを考えています。</p> <p>子供時代の大半を占める大切な小学校6年間に同学年の友達が少ない事でのデメリットが多すぎる。共同作業が困難、友達が少ない、考え方が偏るなど。</p> <p>小学校の維持費と学童数が見合わないため税金の無駄遣いではないでしょうか。また、近隣の小学校も学童数が減っています。統合する事でお互いの地区が活性化されるのではないのでしょうか。</p> <p>また、隣の小学校は普通に通える距離で現に中学校は同じ。学童数が少ない事で隣の地区の過疎化が他の地域よりも進んでいます。学童数が少ない事でUターンしてくる若者がほぼいないため地域の活性化がない。</p> <p>他の県では小学校の跡地に企業（工場）が参入して地区の活性化が進んでいるところが多いです。土地の信用度が高く有効利用できるのではないのでしょうか。沼津線が延長していますが、更に伸びれば非常に良い立地条件になり富士市に人が集まる。</p> <p>結論、統合した方が良い。</p>	<p>本基本方針で記述した通り、大規模校、小規模校ともにメリットやデメリットがありますが、中でも、ご指摘いただいた小規模校のデメリットに関しては、教育委員会としても、大変心配しているところです。</p> <p>特に、新たな時代を生きる子どもたちには、多様なものの見方や考え方に触れる機会、人間関係の広がり等を重視した教育を進める必要があると考えています。</p> <p>また、学校施設の維持や地域の活性化に関する課題等、総合的に考えていく必要性も感じています。</p> <p>今後も、子どもたちの豊かな学びの維持・継続を図っていくために、多角的な検討を進めてまいります。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
<p>10</p>	<p>子供が小規模校に通っています。</p> <p>先日、学校の方から複式学級の話が出ました。あまりにも唐突で、驚きしかありませんでした。時間とともに、不安も膨らみました。教員数が減ること、教務主任が担任を兼ねること等、不安は増大するばかりです。先生方も不安ではないかと察します。</p> <p>百歩譲って、複式学級を取り入れるのであれば、きちんとした準備期間を取って、しっかり体制を整えてほしいです。保護者の意見も聞き、しっかりと説明もしてほしいです。</p> <p>理解を得ないでのスタートはあり得ません。担任も、複式学級を運営するノウハウを学ぶ研修を、時間を掛けて行ってほしいです。</p>	<p>小規模校に関しては、ご指摘いただいた教職員の配置等、保護者の皆様には心配な思いをさせてしまい、申し訳ありません。</p> <p>現在、複式学級に関しては、市費負担教員を配置し、複式学級を解消しております。</p> <p>今後も小規模化による対応が必要な際には、しっかりとした体制を整えていきたいと考えております。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>

<p>11</p>	<p>財政負担の軽減化は賛成するところです。</p> <p>駿東郡浮島村を二つに割って吉原市と合併した時に、一つの村を割く条件として、吉原市に合併する際には浮島地区に小学校の設置を約束するという歴史により、東小学校が誕生した経緯があることを聞いています。その生き証人が多く存在する今、適正配置・適正規模の案に条件を満たしてしまうからといって、同列に扱われることに違和感があります。</p> <p>意見交換のなかで、適正配置・適正規模の考えの中に、既存の学校を維持した上で、議題の対象となりそうな小中学校区の再編成も視野に入れてみてはどうか、との意見が出ました。</p> <p>市街化調整区域の枠が外れただけで、その地域に多くの子育て世代が住む可能性がある地域などは、適正配置・適正規模を検討しながら、早急な条例の改正によって住環境が大きく変わることに繋がります。</p> <p>方針に、既存の学校を維持するための学区の再編成も視野に入れて検討いただきたいです。</p>	<p>今回の適正規模・適正配置基本方針は、子どもたちの豊かな学びを維持・継続し、「自立した人間として、主体的に判断し、他者と協働しながら、新しい価値を創造する力」の育成を目標に、これからの社会を生きる子どもたちにとって、より良い教育環境とはどのようなものかを念頭に策定を進めてきました。</p> <p>今後、対象となる学校については、それぞれの学校の歴史や開校の経緯等があると考えられますので、学校の成り立ちも十分考慮し、保護者や地域の方々との話し合いの場を多く設定し、検討を進めてまいります。</p> <p>また、本市では、地区を基本として学区を決定しております。今後、少子化に伴い、学校の在り様については、変化があると考えられますが、現時点では既存の学校における通学区の変更は考えておりません。</p>	<p>今後の参考にするもの</p>
<p>12</p>	<p>「はじめに」のページ9行目「富士川第二小学校と富士川第二中学校を、小中一貫教育の研究校として指定」この地区の人の思い、願いをどう把握したのか。住民の一人意見を拾い上げる手立てをどうしたのか。一方的な指定ではないのか。</p> <p>「はじめに」のページ17行目「学識経験者や自治会、保護者並びに小・中学校の代表者等から広く意見を聴取」この基本方針策定委員会のメンバーに、地域住民が直接提言で</p>	<p>「はじめに」9行目について</p> <p>富士川第二小学校と富士川第二中学校は、平成27年度からコミュニティスクールの指定を受け、地域の皆様の温かな支援により、大変充実した実践を行ってきました。</p> <p>その実践の成果に加え、以前より小中学校の連携が進んでいたことから、平成29年度には小中一貫教育の先進校に指定し、研究を進めてきました。</p> <p>また、この時期に小学校の改修工事が重なったこともあり、学校運営協議会やまちづくり協議会のご意見を伺いながら、施設一体型の小中一貫校の改築案の検討を進めてまいりました。</p> <p>「はじめに」17行目について</p> <p>策定委員会は、保護者・公募による市民・学校関係者・有識者・地区の代表のメンバーから構成しております。パブリック・コメント制度自体が、</p>	<p>今後の参考にするもの</p>

<p>きるような広報による知らせや公募があったのか。このようなパブリック・コメントでは、そのやり方・意見の言い方・伝え方すら分からない、知らない人が多い。各まちづくりセンターでの開催による方法で一人でも多くの住民の思いを拾い上げるべき。</p> <p>4ページ 人口推計表「3割減の表示」 少人数だからこそその良さ（一人一人によく指導が届き、良さが伸ばされる）を生かし、それを発信することで住民増につながることもねらいたい。児童生徒数をマイナスにとらえることなく、プラス思考で考えれば、教育は欧米並みの人数の下でゆき届いた教育に結び付く。</p> <p>7ページ 3・4行目「免許外指導の発生や、教員一人当たりの担当公務や出張の増加、それに伴う時間割の変更や自習時間の増加等、学校運営においてもデメリット」 このような条件的なことは、教育委員会が責任ある配置をすべきことであり、小規模が悪いことではない。文書送付によることで解決する出張はたくさんある。</p> <p>7ページ 「国の示す小・中学校の適正規模・適正配置」 山梨県では、これを無視し統廃合を実施</p>	<p>市の政策案などを説明し、それについてさまざまなご意見をいただき、市民と行政の協働により政策を考えていくものとなります。頂いたご意見を、今後の制度充実のための参考とさせていただきます。</p> <p>また、富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針の説明会を学校区ごとに実施する予定です。</p> <p>人口推計表「3割減の表示」について 本基本方針に記述しておりますが、小規模校には小規模校のメリットやデメリットが、また、大規模校にもメリットやデメリットがあります。</p> <p>ご指摘いただいたとおり、小規模校には、「きめ細かな指導が行いやすい」「一人一人の活躍の場が多い」といった教育効果があることは認識しております。</p> <p>小規模校のメリットやデメリットを十分に考慮しながら、検討を進めてまいります。</p> <p>「免許外指導の発生や、教員一人当たりの担当校務や出張の増加、それに伴う時間割の変更や自習時間の増加等、学校運営においてもデメリット」について 教職員の配置に関しては、国の標準法により定められており、教育委員会としては、これまでも市費負担の教員の配置や加配教員の増員等、小規模校の学校運営に関しては配慮しております。</p> <p>しかしながら、そのような措置を講じて、標準法による教職員定数が少ないため、学校運営が難しい状況が続いています。</p> <p>また、学校運営上、参加の困難な出張に関しては、文書送付や伝達講習等で代替している場合もあります。</p> <p>「国の示す小・中学校の適正規模・適正配置」について 本基本方針は、国から示された適正</p>	
--	---	--

<p>し、地域の文化センター、住民の心のより所である小中学校を少なくし、更なる人口減少を生み出している。教育に金をかけない行政との意図が見えてくると人の心が離れていく。例えば、身延町豊岡小学校は7年位前に廃校となり、これが引き金になり、人口が減少しはじめ、昨年（2019）国道52号線沿いにあったコンビニも閉店となった。</p> <p>8ページ8行目から18行目「このような中、学校教育に対しては～（省略）～教育の質の更なる充実につながると考えます。」</p> <p>小規模になることで、あたかも、（8行目から11行目）これができなくなるようなこととしているが、今日、小規模だからこそ機能的・能動的に活動できる良さを生かした教育が国内でも取り入られています。ITの活用などを生かしたりして、山の学校の子が海辺の学校と交流をする等。ITだけでなく、相互交流なども可能になり（これには許可する教育委員会の度量の大きさが問われるが）これまでにない、これまでの学校教育ではできなかった特色のある、子どもが楽しく学べ、視野・交流の広がる教育ができるチャンスでもあるわけです。富士市は、文科省のこれまでの規準にこだわることなく新しい学校教育を実践していく良い機会が、今、ととらえるべきです。小人数を生かすことこそが新しい子ども像を育成することにまちがいなくつながると自信を持ってほしい。</p> <p>10ページ「(5) 適正化の対象」</p> <p>規模、人数、配置、国の適正基準にこだわることなく子どもにとっての適正とは何か、子どもの良さが表れる条件を作っていくのが行政の真の適正である。</p> <p>最近、富岳館高校への人気が高まっているという父母の声がある。中学校の学力上位の子が自分の良さを生かすために、単なる普通課に受験することなく、自分の興味・関心のある特色ある課を選ぶ子が増えつつあり、以前のように学力中位の子が合格するのが難しくなった。</p>	<p>規模・適正配置を標準とし、児童生徒にとってより良い教育環境を整備すること、教育の質の更なる充実を図ることを一番の目的としております。</p> <p>今後は、「地域とともにある学校づくり」の視点も大切にし、保護者や地域住民との十分な協議を重ね、理解と協力を得ながら検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>「このような中、学校教育に対しては～（省略）～教育の質の更なる充実につながると考えます。」について</p> <p>小規模校に関しては、「一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、きめ細かな指導を行いやすい」「意見、感想を発表できる機会が多い」等、少人数なりのメリットがあり、小規模校の教育効果があることは認識しております。</p> <p>一方で、本基本方針では、一定規模の同世代の集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、子どもたちの思考力、判断力、表現力や問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を育むことが重要であると考えております。</p> <p>「(5)適正化の対象」について</p> <p>ご指摘いただいとおり、学校の特色を生かした学校経営は大変意義深いことと考えております。本基本方針は、新たな時代を生きる児童生徒にとって、より良い教育環境を整備することや、教育の質の更なる充実を図ることを一番の目的としております。こうした環境を整備することを通して、より魅力ある学校づくりにつながっていくものと考えております。</p>	
--	--	--

	<p>子どもが自分の個性を生かす所・職業はどんな場所が進学する学校を考えはじめている表れの一つ。</p> <p>11 ページ3行目から4行目「再編計画」 統廃合・小中一貫はナンセンス</p> <p>11 ページ6行目「・・・考慮し・・・」 少人数を生かすことが最大に考慮したいことになる。</p> <p>11 ページ23行目「地域住民の意見を聞く機会～」 市の方向性が決まってからでは遅い。</p> <p>11 ページ27行目「教育環境の充実」 教員増と子どもを主体とした教育改革・実践の推進。</p> <p>12 ページ「7 基本方針策定後のスケジュールのうち 学校区ごとに基本方針に関する説明会を実施」 基本方針案が示されてからでは、多くの住民は「ああ、こうなるのだな。こうするしかないのだな」と思ってしまう。かつてのことが全てそうであったので。</p> <p>12 ページ「7 基本方針策定後のスケジュールのうち 早急に検討が必要な学校区に、～保護者・地域から成る組織を設置」 組織メンバーに市などが選出したものだけでなく、本当に各学校区の子ども達を考える人を加えるべき。</p>	<p>「再編計画」について 社会情勢の変化に対応すべく、柔軟かつ効果的な教育が実施できるように、新たな取組が必要であると考えております。</p> <p>「・・・考慮し・・・」について 本基本方針では、新たな時代を生きる児童生徒にとって、より良い教育環境を整備することや、教育の質の更なる充実を図ることを重要な目的としております。</p> <p>「地域住民の意見を聞く機会～」について 今後の学校の在り方については、基本方針に基づいて、保護者・学校・地区住民の皆様のご意見を伺ってまいります。</p> <p>「教育環境の充実」について 今後の参考にさせていただきます。</p> <p>「7 基本方針策定後のスケジュールのうち 学校区ごとに基本方針に関する説明会を実施」について 本基本方針はあくまでも本市における適正規模・適正配置の基準を示したものです。 そのことについて、ご理解いただくために説明会を実施します。</p> <p>「7 基本方針策定後のスケジュールのうち 早急に検討が必要な学校区に、～保護者・地域から成る組織を設置」について 今後の参考にさせていただきます。</p>	
13	<p>適正規模・適正配置基本方針について、概ね賛成します。</p> <p>11 ページ「(1) 学校規模の適正化の検討が必要な学校について」 “現在、複式学級の対象となっている学</p>	<p>ご指摘いただいたとおり、複式学級の対象となる可能性が高い状況にあることは、単に単学級が存在することとは違い、児童生徒数に大きな開きがあります。</p>	今後の参考にす るもの

	<p>校”については「早急に」、「数年後、複式学級の対象となる可能性の高い小学校”については「できるだけ早い時期に」話し合いの場を、とありますが、数年後複式学級の対象となる可能性の高い小学校についても「早急に」進める必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>複式学級の対象となる可能性が高い状況にあることは、単に単学級が存在することとは違うと思うのですが。</p> <p>我が家は“現時点で単学級が存在し、数年後に複式学級の対象となる可能性の高い小学校”校区にあり、未就学児がいます。数年後に就学する子を持つ立場として、また児童数の少ない地区に住む立場として、学校規模適正化には関心を持っています。</p> <p>今後各学区で説明会や具体策の検討等が進められると思いますが、是非そういった機会を広く周知して頂きたいと思います。</p>	<p>今後も、各学校の児童生徒数の推移を注視し、状況に応じて、学校や保護者、地域との話し合いの場を設定し、共通理解を図りながら、検討を進めてまいります。</p>	
14	<p>自分の子供の通っている小学校の人数の少なさに驚きましたが、少人数ならではのメリットを存分に享受できているように感じます。資料にもある通り、学校の規模が大きくても小さくてもメリットデメリットはあると思いますが、特に「小学校」という時期を考えると、少人数による教育の効果は高いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生たちの目が、子どもたちに十分に行き渡る。 ・子どもたちにとっては「先生たちは自分を見てくれている」という安心感。 ・1年生から6年生まで、全員がお互いの名前を知っていて、学年の隔たりなく交流している。 ・1年生から6年生まで、縦のつながりが強い。 ・父兄も全員が顔見知り。子どもたちを囲んで見守っている感じがある。 <p>勤務している先生や、かつて勤務していた先生たちも良い学校だと言ってください。</p> <p>そして今、欧米のトップクラスの教育は少人数で行われています。教育においては、「少</p>	<p>ご指摘いただいたとおり、小規模校には、「きめ細かな指導が行いやすい」「一人一人の活躍の場が多い」といった教育効果があることは認識しております。</p> <p>特に低学年の児童にとっては、先生たちの目が子どもたちに十分に行き渡り、少人数による教育の効果は高いと考えております。</p> <p>本基本方針では、ある程度の集団規模の中で切磋琢磨することを通じて、一人一人の思考力や問題解決能力を育み、社会性や規範意識等を身につけることが、子どもたちにとって大変重要であると考えております。</p> <p>また、どの地域においても、学校は地域コミュニティーの核であり、地域とともに歩んできた宝物であることは十分に理解をしております。</p> <p>今後も、これからの社会を生きる子どもたちにとって、より良い教育環境とはどのようなものかを話し合いの軸として、学校や保護者、地域の皆様</p>	今後の参考にするもの

<p>人数」というのは世界の流れだと思います。そんな時代に、学校を統廃合して大きくしようというのは、完全に日本の大人の勝手な考え方で、世界の流れに逆行していると思います。本当に子どもたちの未来、日本の将来を考えるなら、教育は少人数で行うべきです。しかし、確かに人数が少ないと、行事の催行や、より高度な人間関係を構築するトレーニングには向かないので、ある程度の人数は必要という考え方も理解はできます。そう考えたとき、人数の少ない学校を人数の多い学校に吸収するのではなく、人数の多い学校から人数の少ない学校に分散させて、均等にしていけばいいと思います。別の一部地域を校区に編入するだけで、解決できてしまうと思います。</p> <p>そして、学校を云々という前に、もっと行政ができることはあると地域住人は考えています。地域住人にとっては、決して住みにくい場所ではない地域の人口が増えないのは、市街化調整区域が大きく関係していると考えています。市街化調整区域の解除をもっと真剣に前向きに進めて欲しいと思っています。自分たちの住む地域をもっと活性化したいと考えています。それをやらずに（少なくとも、現時点での取り組みは納得のいくレベルの施策ではないです）、小学校を統廃合する・しないの話を先にされても、住人は納得できません。多くの方が、この小学校と共に人生を歩んできた方々です。自分が通っていた小学校、子どもたちが通っていた小学校、孫が通っている小学校。みなさん愛着があります。学校がなくなって欲しいと思っている人なんていません。何とかして残って欲しいと思っているし、残せる方法はまだまだあると考えています。大人の都合で「適正規模・適正配置」など考えないでください。視点を切り替えてください。子どもたちの将来のために何が大切か、大人に何ができるかを考えて欲しいです。</p>	<p>との話し合いを深めながら、検討を進めてまいります。</p>	
--	----------------------------------	--